

環境省における毒ガス問題への最近の取組状況について

全般	茨城県神栖市		神奈川県寒川町・平塚市 千葉県習志野(習志野市、 船橋市、八千代市)	B/C 事案等
	健康影響に係る緊急措置等	汚染源調査		
・15年6月6日 「茨城県神栖町における有機ヒ素化合物汚染等への緊急対応策について」閣議了解。 ・15年6月末～7月中旬 昭和48年「旧軍毒ガス弾等に関する全国調査」フォローアップ調査を各省庁、都道府県等へ依頼。 ・15年11月28日 全国調査結果を公表。既に判明しているもの以外に切迫した事案はなかったが、138 に整理した事案を陸域4分類(A～D事案)と水域に分類。 ・15年12月16日 「国内における毒ガス弾等に関する今後の対応方針について」閣議決定。 ・15年12月17日 第1回国内における毒ガス弾等に関する関係省庁連絡会議開催。毒ガス情報センター発足。	・15年3月 飲用井戸から環境基準の450倍のヒ素検出(通称「A井戸」)、旧軍の毒ガス由来の可能性が高い有機ヒ素(ジフェニルアルシ酸)と判明。住民に健康影響。西方の井戸からも検出。 ・15年3月21日 ヒ素水質基準超過飲用井戸の飲用自粛を要請及び上水道への転換を促進。 ・15年6月6日 健康被害に係る緊急措置事業要綱を取りまとめ。健康被害を受けた住民に対し医療費等の給付、健康管理調査を開始。 ・15年6月30日 申請の受付開始 ・16年2月25日 A・B地区を中心とした地域内での飲水中止を要請。 【最近の状況】 ・緊急措置事業の状況 申請者 552名 医療手帳対象者 152名 うち健康管理調査対象者 30名 【今後の課題】 緊急措置事業は事業開始5年を目途に全般的な検討を行うこととされているため、平成20年6月末までに検討が必要	・15年5月～ < A 地区 > A井戸から南東90mの地点で高濃度のジフェニルアルシ酸検出。掘削調査を実施し、高濃度のジフェニルアルシ酸を含むコンクリート様の塊を発見。 < B 地区 > 11月から広範な井戸水調査等を実施し、地下水汚染の拡大がないこと等を確認。モニタリング調査を継続中。 【最近の状況】 ・17年6月29日 調査結果を取りまとめた中間報告書を公表。コンクリート様の塊が神栖地域の地下水汚染の汚染源である可能性が高いとされた。 ・18年7月31日 掘削調査で除去した汚染土壌等について、18年3月に実施した確認試験の結果を踏まえ、神栖市内の廃棄物処理施設で焼却処理することは技術的に可能との評価。本格処理の準備を進めることを決定。 【今後の課題】 汚染土壌等の本格処理の実施 汚染解明調査最終報告書のとりまとめ 茨城県警による捜査への協力	・14年9月 寒川町のさがみ縦貫道路建設現場で作業員が旧軍毒ガスに被災。 ・15年4月 平塚市の地方合同庁舎建設現場土壌から毒ガス成分が検出。 ・15年11月 全国調査結果に基づき、習志野の事案をA事案に分類。 ・平成15年～16年度 環境調査で地下水、大気、物理探査、土壌、表層ガス調査、不審物確認調査を実施。 【最近の状況】 ・17年4月20日 環境調査の結果、寒川・習志野では全ての調査で毒ガス成分を検出せず、「現状においては日常生活を行う上で危険性がない」ことを確認。 平塚では、一部の地下水及び一部の土壌からジフェニルアルシ酸等の有機ヒ素化合物が検出されたため、地下水モニタリング等を継続。習志野では、自衛隊習志野演習場を習志野事案に追加し、防衛庁と連携して環境調査を実施。 【今後の課題】 平塚では、モニタリングの継続等、所要の対策が必要	・15年11月28日 全国調査結果を公表。既に判明しているもの以外に切迫した事案はなかったが、138 に整理した事案を陸域4分類(A～D事案)と水域に分類。 ・16年2月4日 都道府県等へ情報収集のため、B・C事案を中心に追加的情報収集を依頼。 ・17年3月25日 17年度において環境調査等の対応が必要な事案(10事案)などを決定。 【最近の状況】 ・17年6月29日 環境調査等の対応が必要とされた10事案について、今後の対応方針を決定。 ・18年3月20日、5月30日 17年度に実施した環境調査の結果、10事案全てについて、日常生活上の安全を確認。所要の環境調査を完了していない3事案*については、引き続き環境調査を実施。 *千葉県千葉市、浜名湖周辺、宮崎県都城市 【今後の課題】 所要の環境調査を完了していない事案について、環境調査の着実な実施